



農林水産部 園芸振興課
副主幹 伊藤 晶

農学(一般)

経歴（採用24年目）

- 2022年度～ 農林水産部 園芸振興課
- 2019年度～ 秋田地域振興局農林部 農業振興普及課
- 2017年度～ 由利地域振興局農林部 農業振興普及課
- 2015年度～ 農林水産部 農業経済課
- 2014年度～ 観光文化スポーツ部 秋田うまいもの販売課
- 2011年度～ 秋田地域振興局農林部 農業振興普及課
- 2009年度～ 由利地域振興局農林部 普及指導課
- 2006年度～ 由利地域振興局農林部 農林企画課
- 2003年度～ 仙北地域振興局農林部 普及指導課
- 1999年度～ 農政部 鹿角地域農業改良普及センター

Q 秋田県職員を志望した理由は？

理科（特に生物）が得意だったので農学部に入り、大学3年生頃には、農業関係で女性が長く続けられる仕事として県職員の受験を決めました。採用されると農業行政、試験研究、普及指導業務を担当します。私の初任地は鹿角地域で、野菜担当の農業改良普及員（現在は普及指導員）として配属されました。

Q 現在どんな仕事を担当していますか？

普及指導員という農業者や地域農業を支援する資格を持ち、野菜の栽培技術指導や産地支援、女性農業者支援などに携わってきました。現在は、秋田県の野菜生産振興業務と、農業革新支援専門員の仕事をしています。全県で30名ほどいる野菜の普及指導員や農業試験場の研究員とともに、農業者の技術向上に取り組んでいます。

Q 部下（後輩職員）を持ち、心がけていることは？

中堅となり、後輩、特に女性職員も増えています。全県域で勤務している後輩たちが、業務で顔を合わせ、話をする機会を作るようにしています。仕事をしていく上で大変なことは必ずありますが、後輩たちには時には愚痴を言い合い、時には励まし合い、共に頑張っしてほしいですし、先輩として応援してきたいと思っています。

県職員を目指している方へメッセージ

仕事を通じて、全県域の農業者とよい出会いがたくさんありました。本来、私は人付き合いが苦手なので、もし県職員にならなければ得られなかった財産だと思っています。後輩たちを見ていると、若い方が意欲的に取り組む姿は、周りを元気にする力があると感じます。一緒に頑張ってくれる仲間が増えてほしいと思っています。